

「弱点は宝物」

三重県 伊勢市立厚生中学校1年 大西 諒

僕は、人には誰でも弱点があると思います。その弱点は、苦手な事や物、障害など、人によってそれぞれ違うと思います。そして、その弱点によって嫌な気持ちになったり、マイナス思考になってしまうことがあると思います。ですが、弱点というのは、それだけのものなのでしょうか。僕はそれは違うのではないかと思います。

僕は生まれたころから右耳が聞こえていませんでした。皆の言っている事が聞こえにくい僕は、色々な人に迷わくをかけてきました。

幼稚園の時、僕はまだ幼いので、片耳が聞こえていないという実感もなく、生活の中で、苦勞した記憶もありませんでした。友達と普通に遊べていたし、先生の話もしっかり聞いている、僕はそう思っていました。しかし、それは、たくさんの人の助けがあって、不安のない生活をおくれているのだということに、その時の僕はまだ気づいていませんでした。

そして、僕は耳の事についてあまり心配せず、小学生になりました。小学校は幼稚園と違い、様々な事を一人でしないといけません。僕は小学校で、片耳が聞こえない人のつらさ、周りの人の努力を知ることになりました。幼稚園の時は知らぬ間に配慮してくれた座席、声の大きさなど、小学校では、他人の気配りによって、僕が困らないようになっていることはありませんでした。幼稚園の時、当たり前のようにしてもらった事を、自分がやろうとしても、うまくいきませんでした。自分では出来ないことを、周りの人にやってもらい、それを当たり前と思い込んでいた自分を、おかしいと思うようになりました。そのころから、僕は自分を見直せるようになりました。今まで、周りの人に何をしてもらったのか、してもらった事に対して自分はどうしてきたのか。それから、僕は今までしてもらったことに感謝せず、当たり前と思っていた自分を戒めました。それまでは耳の事でみんなにうまく伝えられず、あきらめてしまった事に対しても頑張ろうと前向きになりました。

そして、少しずつですが、幼稚園の時に、周りの人に苦勞をかけてしてもらった事を、自分でできるようになっていきました。僕は弱点のおかげで成長することができました。

そして、僕の成長は周りの人にも影響を与えていくのだということも小学校の時に知りました。

僕が弱点に対してマイナスにならず、心を開いて努力しているのを見た友達が、弱点に対して前向きになったように思いました。最初に言ったように一人一人の弱点は違います。でも、みんな弱点のおかげで成長してきたことは同じだと思います。みんな同じように、色々な人に助けられて、色々考えてきたから、心を開いて信頼できたのだと思います。

そして、僕は中学生になりました。小学校で弱点は自分が成長するきっかけだと知った僕は、中学校で弱点を使ってもっと成長していこうと思います。これからどんな弱点があらわれ、それによって、僕はどう成長するのか楽しみです。

弱点はマイナスだけではないことを僕は知りました。弱点は人を強くします。弱点は仲間との信頼関係を生みます。弱点は自分を見直すきっかけになります。

みなさん、弱点のある事はそんなに悪いことでしょうか。弱点のない完璧な人なんていません。逆に弱点がないと周りの人達の思いやりに気づくことができません。弱点は自分を高める宝物なのです。恥ずかしがらずに前を向くことで新しい自分が生まれるのではないのでしょうか。